

沖縄県社保協ニュース



沖縄県社会保障推進協議会

会長 新垣安男 事務局長 高崎大史
那覇市古波蔵 4-10-53 健康企画ビル 3階
沖縄民医連内 098-833-3397 Mail:okisyaho@gmail.com

20200803

20期 No.37

《部内資料》

コロナ特例の国保税(料)減免、資格証の運用など ローカルルールで格差拡大 住民に寄り添う国保行政を要請

コロナ特例の支援策が広がる一方、実際の運用で格差も拡大してきています

今ある制度の改善、拡充、そして、国の補助の継続をよびかけました。



7月28日 県庁国保課へ県社保協から要請、知念さん(沖商連事務局長)照屋さん(生活と健康を守る会)高崎(県社保協事務局長)が参加。

「見込み」で申請なのに「確定申告」でチェック？

今回のコロナ特例減免は、①前年より収入が3割減少 ②一定期間の「見込み」で申請 となっています。表現があいまいなため各地で「ローカルルール」を生んでいます。全国では、積極的に解釈し持続化給付金と同様「任意の1か月」×12で年収見込みとするところが続出(大阪市、横浜市、千葉市など)しかし、県内では、1月から直近までというところが多く、しかも一部では来年の確定申告でチェックし、超えていれば返還を明記するところまで出てきています。(沖縄市等)これでは、申請に自己規制がかかり、生活苦救済への「迅速に」減免ができなくなってしまいます。返還要求されないことは6月16日の倉林議員質問への厚労大臣答弁で明らかですが、県は「国から明確な返答がない」とあいまいな回答に終わりました。そのほか、減収計算に不要な「経費と所得」記入する申請用紙もありました。

7月28日県庁国保課への要請事項(県社保協)

- ① 国保の傷病手当金について、自営業者等にも拡充してください。政府にも強く要請してください。
- ② 国保の減免算定の格差を県民に寄り添う立場で是正してください。「見込み」減収で迅速な減免をお願いします。国の基準にはない「確定申告の提出によるチェック」や「貯蓄額」の提出は求めないようお願いします。
- ③ 国保減免への財政支援などを特例とするのではなく、国庫補助で継続するよう政府へ要請してください
- ④ 国保運営方針の改定作業の現状と課題について教えてください。強引な赤字解消計画による国保税(料)の引上げは県民生活を破壊することになります。悲痛な県民の声を改訂作業に反映させるようお願いします
- ⑤ 国保資格証に関するこれまでの厚労省からの事務連絡、通達で特に「平成20年10月30日厚労省事務連絡「被保険者資格証明書の交付に際しての留意点」」「平成21年1月20日厚労省事務連絡「被保険者資格証明書に係る政府答弁書について」」「平成21年12月16日厚労省国保課長通達「短期被保険者証の交付に際しての留意点について」」を活かし、県民に寄り添う立場での国保行政の徹底をお願いします。
- ⑥ 国保資格証による受診率について調査をお願いします。国民皆保険における受療権保障をお願いします。

国の基準でも書いていない申請方法は、実務をより煩雑にし、特に困窮している中小零細業者に大きな負担となります。迅速にという趣旨にも反します

一方で、今回の要請で、国保への「傷病手当金」が県内全市町村で導入されることが明らかになりました。また、テレビCMによる「減免制度紹介」の効果も表れ始めています。県内では感染が急増しており、行政には、ますます「いのちと生活を守り、県民に寄り添う」姿勢が求められます。国基準の全面実施はもちろん、さらに上乗せ拡充、そして柔軟な運用を引き続き求めていきましょう。国に対しては、支援策への国庫補助の継続恒常化を求めます。

国保の減免求め
県に要請書提出
2020/8/2
9:42

要請書では「コロナ特例の国保減免の条件にも大きな格差が生じている」と指摘。国保の傷病手当金を自営業者にも拡充することを強く要請する。県に要請している。

県社会保険推進協議会と県商工団体連合会は28日、新型コロナウイルス感染症拡大で県内の自営業者などの収入が減少していることを受けて、県に国民健康保険(国保)の減免を要請する要請書を手渡した。

県保健医療部国民健康保険課の山内満博課長は「運用は各市町村に任せられているので、要請内容は各市町村に声として伝えた」と返答した。

那覇市の国保資格証に改善を要請

「疾病時は短期証交付」は政府答弁書でも明らか

7月31日、那覇市国保課へ県民医連から要請。民医連からは名嘉事務局長以下5名が参加。那覇市から崎濱国保課長以下3名が参加。

国保資格証問題を中心に要請懇談を行いました。資格証には「過酷な負担から医療を遠ざけるもの」「国民皆保険に穴をあけるもの」「納付率も上らず縁切り宣言になる」などの根本的な欠陥があります。特にこどもが医療にかかれない事例が相次ぎ、2008年に国会で取り上げられ社会問題となりました。大きな世論の結果、運用を修正する答弁書や通達が相次いで出され、「高校生まで保険証は必ず交付する」「機械的な運用をせず、事情をよくきく」「大人でも急な疾病時には支払いが困難と申し出れば保険証を交付する」などの改善が国から指示されています。

しかし、この間の懇談で明らかになってきたことは、那覇市の国保行政がこれらの修正改善内容から大きく逸脱したのになっているということです。

那覇市の資格証発行は2017年から急増突出。那覇市の資格証明書(1年半以上滞納で保険証返却させて交付、窓口10割負担)発行数は、2016年までは1件だけでしたが、2017年度から急増、毎年400-500件も発行しており、県内の大半を占めます。しかも1件⇒457件へ457倍化したときの運用は「短期証が増える中、未交付が多く、その部分を資格証へ移行」というまさに「機械的な運用」そのものでした。

コロナ第一波ピークの際に「コロナ特例」を個別通知せず(那覇市のみで他の自治体は春の段階で個別連絡していた)

今回のコロナ危機の中で政府厚労省は「納付相談ができないため短期証を交付する特別な事情にあたる」「少なくとも帰国者接触者外来では保険証扱いとする」周知するように事務連絡を発しました。ところが、那覇市は「センターがひっ迫していたため、HP掲示」にとどめてしまいました。しかも「納付相談は電話でもできるので特別な事情にはあたらない」という独自のローカル解釈を示しました。もし、第一波で資格証から感染者が発生しても受診は重症化してからになったでしょう。スーパースプレッダーが発生する可能性も否定できないことです。今後このようなことがないよう厳しく指摘しました。

コロナで困窮の資格証の市民 糖尿病悪化を申し出ても保険証交付緊急対応せず

2008-2009年資格証が社会問題化したときに資格証でも「疾病時の保険証交付」が出され、厚労省に確認したところ、「今も変更はない」とのことです。しかし、那覇市国保課は、「滞納額の半額以上を納付するか、医療機関の証明書を持参すること」を求めました。この通達の趣旨は「医療にかかる前の保険証交付」であり、明らかに運用を誤っています。要請で「精査する」と確約されましたが、窓口へは3回以上出向いても、まだ交付されなかったことを考えると、資格証の考え方が「機械的」「制裁的」「差別的」になっていると感じざるを得ません。根が深いところでの改善が必要です。

「特別な事情」と「受診率」調査の検討を約束

一方で、今後の改善につながる前進もありました。コロナ禍の中で、資格証の方こそ「困窮している」可能性が高いはずですが。資格証解除となる「特別な事情」がないか、生活保護資格があるのではないかなど調査の検討を約束していただきました。また、同時に資格証の方がどれだけ受診できているのか、「受診率調査」の検討も約束していただきました。国保税を引き上げないために10億円を超える一般会計からの繰り入れを堅持していることも高く評価するものです。まだ「国保運営方針の改定議論」「短期保険証の運用」なども課題となっており、引き続き、懇談を重ねていきたいと思えます。

7月31日那覇市国保課への要請事項(県民医連)

- ① 国保の減免算定の格差を県民に寄り添う立場で是正してください。「見込み」減収で迅速な減免をお願いします。
- ② 国保減免への財政支援などを特例とするのではなく、国庫補助で継続するよう政府へ要請してください
- ③ 「那覇市国民健康保険被保険者証の返還及び資格証明書交付等に関する要綱」の中の「適用除外」第4条(3)その他市長が特に必要と認めたととき。の条項をコロナ禍において積極的に活用が望まれますが、この認定の手順、内容、どういふことを想定しているのか教えてください。
- ④ 市議会意見書にもある通り、市民の要望や期待にこたえられるよう自治体職員を増員、臨時採用するなど確保するための財源の交付を国に要請してください。
- ⑤ 国保運営方針の改定作業の現状と課題について教えてください。市民の声を反映させるようお願いいたします
- ⑥ 過去5年間の国保資格証明書の「新規発行数」「解除数」の推移を教えてください。
- ⑦ 国保資格証や短期証に関するこれまでの厚労省からの事務連絡、通達で特に「平成20年10月30日厚労省事務連絡「被保険者資格証明書の交付に際しての留意点」」「平成21年1月20日厚労省事務連絡「被保険者資格証明書に係る政府答弁書について」」「平成21年12月16日厚労省国保課長通達「短期被保険者証の交付に際しての留意点について」」を活かし、福祉のまち那覇市として、市民に寄り添う立場での国保行政の徹底をお願いします。
- ⑧ 国保資格証患者の受診率調査をお願いします

